

[Japanese Journal of Disaster Medicine 投稿規定]

2008年11月 一部改訂
2009年2月 一部改訂
2011年8月 一部改訂

1. Japanese Journal of Disaster Medicine (J. J. Disast. Med. 日本集団災害医学会誌)は、「日本集団災害医学会」の機関誌として、災害医学・医療の科学性を追究し、その進歩発展に寄与することを目的とする。
2. 著者または共同著者のうち1名は本会の会員であることを要する。ただし編集委員会が寄稿を依頼した場合は、その限りではない。
3. 投稿論文は二重投稿および同時投稿でない旨を明記した「誓約書」に著者全員(7名以内)が署名・捺印して添付すること。ただし、同時掲載や、外国語で他誌に掲載されたものを日本語に変えて本誌に余剰出版(重複出版)することが公に利すると思われる場合はこの限りではないので、投稿時にその旨を必ず伝えるとともに、掲載論文のコピーまたは別冊を添付すること。掲載の是非は編集委員会で判断するが、掲載する場合、掲載誌を明記した上で論文の種別は「資料」とする。
4. 投稿論文は「原著」「事例報告」「体験レポート」「紹介論文」「総説」などを受け付ける。原著論文は上記の主旨をふまえた未発表のものに限る。
5. 原稿は次の様式にしたがって投稿すること。
 - 1) 原稿はコンピュータ(WindowsまたはMacintosh)のワードプロセッサ・アプリケーションで起稿すること。その際は、Microsoft Wordの使用が望ましい。他のアプリケーションを使用する場合は、テキスト形式に変換すること。
 - 2) A4判の用紙に40字×30行でプリントアウトしたものを原稿とし、そのデータをコピーしたメディア(フロッピー・ディスク、またはMOディスク、CD-R)を添付する。データ名には必ず拡張子(.doc, .txt)を付すこと。メディアのラベルには、使用OS名、アプリケーション名、バージョンを明記すること。
 - 3) 原稿の冒頭にはタイトルページを必ず付すこと。タイトルページには、和文表題、英文表題、キーワード(3~5語。和単語・英単語)、著者名(和・英)、所属(和・英)、役職名、住所、電話番号、電子メールアドレスを記すこと。
 - 4) 和文論文には、すべてその内容の主旨が十分に伝わるような英文のAbstract(600 words以内)および和文要旨(400字以内)を必ず付すこと。また英文は投稿に先立って、Native Speakerかそれに準じる人の校閲を受けること。英文校閲を受けた場合は、必ず英文校閲者の署名を添付すること。なお英文校閲者は、編集委員会でも実費にて紹介できるので問い合わせること。
 - 5) 原稿は本文、文献を含め12,000字以内(上記A4判プリントアウトで10枚以内)とする。
 - 6) 図・表は、Microsoft Word, Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint, Adobe Illustratorで作成し、1ページに1点としたプリントアウトを付すこと。またデータは、原稿と同じメディアにコピーすること。データ名には必ず拡張子(.doc, .xls, .ppt, .eps等)を付すこと。
- 7) 写真を付す場合は、データ、プリントのいずれでもかまわない。データの際は、JPEG, TIFF, EPSの形式にし、なるべく解像度が高いものが望ましい。そして1ページに1点としたプリントアウトを付すこと。またデータは、原稿と同じメディアにコピーすること。データ名には必ず拡張子(.jpg, .tif, .eps)を付すこと。プリントの際は、L判以上のサイズとする。
- 8) 図、表、写真のタイトル、内容説明はすべて英文で記すこと。
- 9) 他者に著作権が帰属する図、表、写真、資料を引用・転載する場合は、著者自身が著作権者の了解を得た上で、出所を明記すること。
- 10) 文章の表記等：
 - ①災害医学に関する用語は、本学会用語委員会が作成した用語集に則り用いること。
 - ②現代かな遣いを用い、医学用語以外は常用漢字とする。原稿は横書きとする。
 - ③外来語、動植物の学名、外国人名などはカタカナまたは原語で記すこと。薬品名は一般名を用いる。
 - ④数字はアラビア数字を用い、度量衡の単位はCGS単位でm, cm, mm, hr, kg, g, mg/dlなどとする。
- 11) 文献の記載
 - ①必要不可欠なもののみを20編以内で引用すること。
 - ②著者名は筆頭著者から3名まで列記し、それ以上は「他」または「et al」とする。
 - ③誌名略記は、医学中央雑誌収載目録略名表およびIndex Medicusに準ずる。
 - ④文献記載例
<雑誌>
引用番号) 著者名：題名、雑誌名 発行西暦年；巻：頁-頁。
1) 今泉均, 金子正光, 丹野克俊, 他：津波災害による負傷者の神経内分泌学的ストレス分析. 救急医学 1995 ; 6 : 689-94.
2) Hedges JR, Dronen SC, Feero S, et al : Succinyl-choline-assisted intubation in prehospital care. Ann Emerg Med 1988 ; 17 : 469-72.
<単行本>
引用番号) 著者名：分担項目題名、編者名、書名、(巻)。(版)、発行所、発行地、西暦年、pp頁-頁。
1) 鶴飼卓：阪神・淡路大震災。鶴飼卓他編。事例から学ぶ災害医療。南江堂、東京、1995, pp35-48。
2) Gunn, SWA : International Cooperation in Disaster Medical Relief : the Role of UNDRO. In : Ohta M, Ukai T, Yamamoto Y, eds. New Aspects of Disaster Medicine. Herusu Publishing Inc., Tokyo, 1989, pp 38-44.
6. 論文はタイトルページ、本文、文献、図・表を含め、

オリジナルの他にコピーを4部添付して投稿すること。

7. 英文論文を歓迎する。A4判 double space でタイプ (elite) するかワードプロセッサによる。文献、図、写真を含め20枚以内とする。英文論文の場合も600 words 以内の Abstract および和文要旨 (400字以内) を添付すること。
8. 投稿論文の中で、臨床にかかわるものにおいては、傷病者や被験者ならびに特定の個人の人権を損なうことのないよう、十分配慮されたものでなければならない。個人が特定される年月日などの記載は臨床経験をj知る上での必要最小限にとどめ、プライバシー保護に留意すること。また、動物実験にかかわるものにおいては、動物愛護の面に十分配慮されたものでなければならず、必要に応じてその旨を記載する。
9. 臨床試験 (医薬品, 医薬部外品, 健康食品, 医療

機器等) に関する論文は、利益相反関係 (例: 研究費・特許取得を含む企業との財政的関係, 当該株式の保有, 公的研究費に基づくかどうか等) の有無を本文の最後に明記すること。利益相反関係がある場合には、関係する企業, 団体名も明記する。

注) 利益相反に関する記載例

- ・本研究は〇〇〇〇の資金提供を受けた。
- ・〇〇〇〇の検討にあたっては、〇〇〇〇から測定装置の提供を受けた。
- ・利益相反はない。

10. 原稿の送付先

〒164-0001 東京都中野区中野2-2-3

(株)へるす出版事業部内

日本集団災害医学会誌 編集委員会

TEL 03-5342-4327 FAX 03-3380-8627

日本集団災害医学会誌
編集委員会 御中

年 月 日

誓約書

下記投稿論文は、その内容が他誌に掲載されたり、あるいは投稿していないことを誓約いたします。

投稿種目：〔原著 事例報告 体験レポート 紹介論文 総説〕

(○で囲んで下さい)

論文名： _____

著者：(著者全員，署名・捺印のこと)：

- | | |
|------------|------------|
| 1. _____ 印 | 5. _____ 印 |
| 2. _____ 印 | 6. _____ 印 |
| 3. _____ 印 | 7. _____ 印 |
| 4. _____ 印 | |

筆頭著者の所属施設名：
